

ミュージアム キャラバン隊 で 絵や立体を学びました。

12月1日(火)に、県立美術館より学芸員2名と美術品運搬のプロの運送業者2名が、絵画作品4点とブロンズ像2点を持って来校されました。これは、県立美術館に興味・関心を持ってもらい、郷土愛を育むことをねらいとして、行われている事業です。県内の小学校を年に数校ずつ回るそうです。

4年～6年生が、絵の材料や手法、作家の人となりについて学芸員さんに教えてもらいました。絵の価値についても教えてもらい、おおよその金額を聞きました。車を買う値段を聞き、びっくりしました。ブロンズ像も箱から出すところから見せてもらい、綿や布で覆われて壊れない工夫をされていることを教えてもらいました。

美術館では、絵に近づくことはできませんが、今回は特別という事で、近くまで寄って、見せてもらいました。油絵の具の凸凹がよく分かりました。子ども達が使っている水彩絵の具とは、塗り方が違うこともよく分かりました。



持久走大会 頑張りました。

12月5日(土)の土曜授業の日に、持久走大会を行いました。朝の冷気が残っていましたが、風もなく晴天に恵まれて、運動しやすい天候でした。3週間ほどの練習期間で、少しずつ長い距離を走ることに慣れてきた子どもたちが、お家の方の声援を受け、精一杯頑張って走りました。応援ありがとうございました。

1年と2年は2周コース(925m)、3年と4年は3周コース(1305m)、5年と6年は4周コース(1685m)を走りました。

この持久走大会は、体力面と精神面の成長を願って毎年行っています。体力面では、運動を長く続ける力や走る力が身に付きます。精神面では、つらいことや苦しいことを耐える心が育ちます。つらいことがあった、気に入らないことがあったとって、機嫌を悪くしたり、他の人や物に当たったりしたい気持ちを抑える心が出てきます。少しずつ体も心も強くなっていくといいなと思って、応援しました。どの子ども自分のペースで、最後までよく頑張りました。また、ほかの学年が走る時は、縦割りグループでまとまって応援をしました。声援が聞こえて、やる気が出たのではないのでしょうか。みんなよく頑張りました。

